

i-FILTER Tri-Sphere on SCCloud

サービス仕様書

株式会社ソフトクリエイト

目次

1. サービス概要.....	4
2. 利用条件.....	4
3. サービス内容.....	6
4. メンテナンス.....	7
5. バージョンアップポリシー.....	7
6. 制限事項.....	8
7. 注意事項.....	8

はじめに

◇

- ①本書は内容およびプログラムの一部または全部を、当社に無断で転載・複製することを禁止しております。
- ②本書およびプログラムに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ③プログラムの機能向上のため、本書の内容と実際の画面・操作が異なる場合があります。
本書と異なる場合は、実際の画面・操作を優先とさせていただきます。
- ④本書の内容について、ご不審な点・誤り・記載漏れなど、お気づきのことがございましたら当社までご連絡ください。
- ⑤本書の画像および印刷例に表記されている会社名・数値などは、実在のものとは関係ございません。
- ⑥本書に記載している会社名・製品名などは、各社の商標または登録商標となります。
- ⑦本サービス名は、i-FILTER Tri-Sphere on SCCloud（以下、i-FILTER on SCCloud と表記）となります。

1. サービス概要

1-1 i-FILTER on SCCloud 概要

i-FILTER on SCCloud は、デジタルアーツ社製の Web プロキシ製品である i-FILTER をクラウドサービスとして提供するサービスです。専用サーバを自社内に立てることなく、サーバの運用管理をすることなく i-FILTER をクラウドサービスとしてご利用いただけます。

2. 利用条件

本サービスは、製品ライセンス及び製品サポート年間更新は当社経由にてご購入いただく前提となります。

2-1.通信条件

- ・ i-FILTER on SCCloud のご利用には弊社クラウド環境との VPN 接続が必要となります。
- ・ VPN 接続により弊社クラウド環境に接続が可能な PC からご利用いただけます。
- ・ 管理者様の PC または i-FILTER の管理画面を操作する方の PC がある環境から「i-FILTER on SCCloud」に対して、下記のポートの通信を許可して頂く必要があります。プロキシサービスやファイアウォールをご利用の際はご注意ください。

※ 「i-FILTER on SCCloud」の IP に対して開放が必要な通信ポート

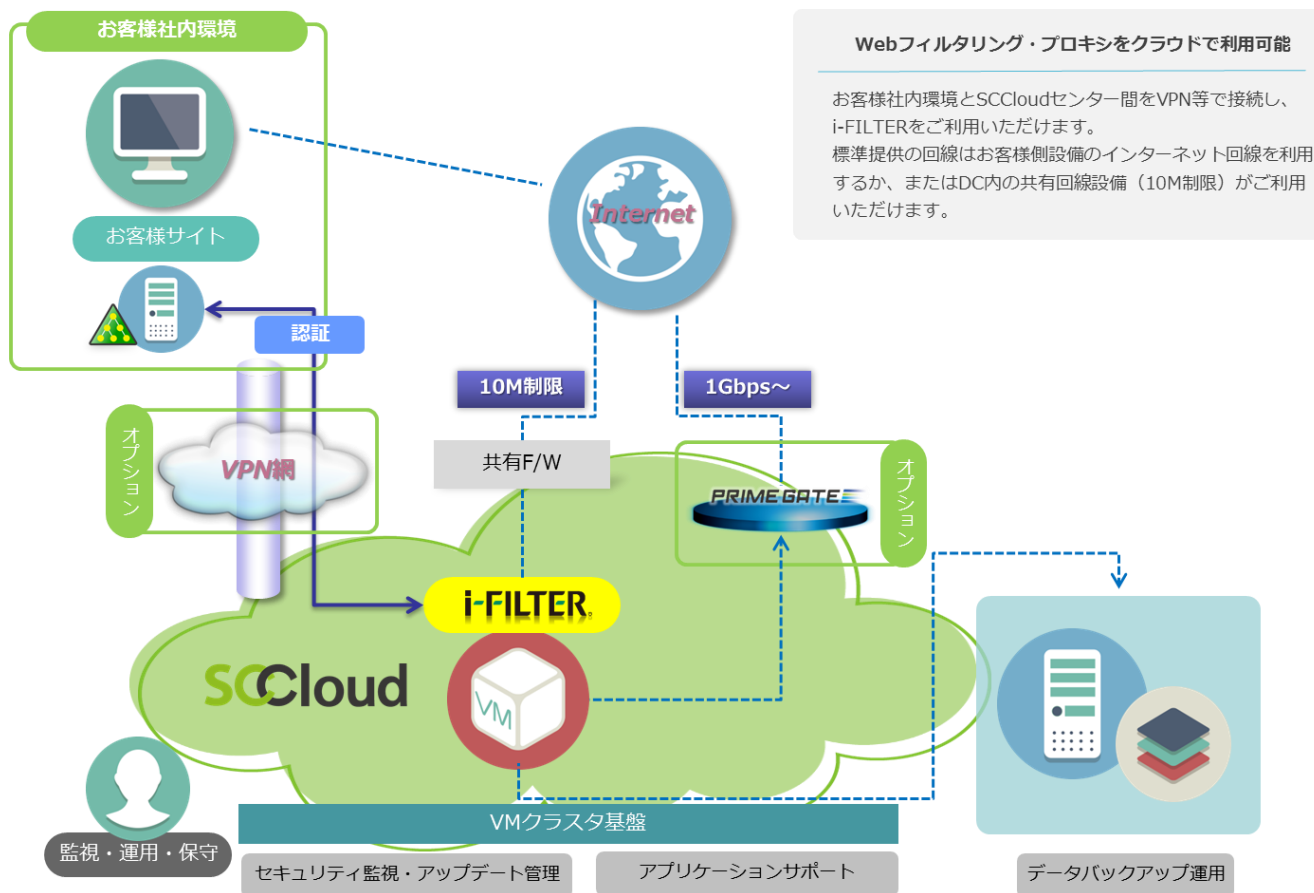
- ・ TCP:15080/15081/15090 ポート

※その他、ご利用機能によって解放が必要なポートがございます。以下をご参照ください(2019年4月)。

<https://www.pa-solution.net/daj/bs/faq/Detail.aspx?id=2909>

※ 記載された内容および製品の仕様は、改良のために予告なく変更される場合があります。

■サービス概要図



2-2.利用設定

- ・マニュアル類を参考に管理端末から初期設定、フィルタリング設定を行って下さい。
- ・各端末のプロキシを設定してください。
 - ※i-FILTER ライセンス納品メールに記載がございます、デジタルアーツ製品電子納品サイトよりマニュアルをダウンロードして下さい。
 - ※アクセス先サイトの URL 及びログイン ID などをご契約後にお知らせとなります。

2-3.対応 OS

- ・以下の URL より動作環境をご確認ください (2019 年 4 月)。
<https://www.daj.jp/bs/ifmf/sysreq/requirements/>
 - ※ 記載された内容および製品の仕様は、改良のために予告なく変更される場合があります。

3. サービス内容

3-1. 全般

- ・ i-FILTER on SCCloud は、i-FILTER の利用ライセンスを別途契約いただく必要があります。
- ・ ご利用いただける製品バージョンは ver.10 となります。
- ・ i-FILTER on SCCloud の最低ご利用期間は 3 ヶ月となります。

3-2. 機能概要

・ i-FILTER Ver10 機能

・ フィルタ機能

ユーザーの要求した URL がフィルタデータベース、もしくは管理者が定義したブラックリストに登録されている URL に該当した場合、フィルタリングされて閲覧できなくなります。ブラックリストデータベースは複数のカテゴリに分かれており、カテゴリごとに ON/OFF の設定を「フィルタ強度」により設定することができます。

・ i-FILTER Reporter Ver10 機能

・ レポート

レポート機能は「i-FILTER」のアクセスログを集計することで、組織内のインターネット利用状況を可視化・分析するレポートインテグレーションツールです。アラート機能では通信量や特定カテゴリなど、あらかじめ設定した条件に該当したアクセスのみをレポートすることも可能です。「Reporter」は汎用データベースを必要とせず、Web ブラウザー上で表示が可能のため、複数の管理者が同時に確認することができます。

・ 検索

LogSearch 機能ではユーザー名や、グループ名、ブロック状況を指定し、多彩な切り口で情報を瞬時に抽出することができるので、アクセスの多いユーザーやサイトの特定、時間帯によるアクセスの傾向や機密などの特定の情報が「どの端末から」「何時に」流出したか、簡単かつ迅速に見つけ出すことができます。また、アクセスログ改竄検知機能では、アクセスログ内の改竄の有無をスピーディーに検索可能です。これにより、コンプライアンスや内部統制の実現を強力にサポートします。

3-3.バックアップ

- ・本サービスのバックアップは2世代(2日前)となります。本サービスのバックアップはサービス障害時の復旧を目的としております。お客様操作に起因するデータ消去やログ喪失等を本バックアップにより復元することは出来ません。

3-4.サービス提供時間

- ・24時間365日でサービスをご利用頂けます。
- ※但し、メンテナンス時間を除きます(詳細は、「4.メンテナンス」をご参照ください)。

3-5.テクニカルサポート

- ・お問い合わせ連絡先、お問い合わせ時間はご契約時に発行する設定通知書に記載しています。
- ・テクニカルサポートの範囲は本サービスでご提供する機能に限ります。
- ・オプションライセンスに関するテクニカルサポートはお受けできません。
- ・お客様環境に起因するテクニカルサポートはお受けできません。

3-6.障害サポート

- ・障害サポートの範囲は、本サービスの提供環境に限ります。
- ・障害対応は24時間365日で提供いたしますが、定期メンテナンス時間帯(1時~6時)の間は、自動運転(※)となります。
- ・オプションライセンスに関する障害サポートはお受けできません。
- ・お客様環境に起因する障害のサポートはお受けできません。

※自動運転とは、一定の障害復旧用オペレーション(サービスダウン検知後、自動的にサービス起動実行を行うなど)を自動化する弊社運用体制を指します。エンジニアによる復旧対応作業時間は、6時01分~0時59分となります。

3-7.その他

- ・本サービスご利用開始後の設定追加作業等はすべてオプションでの対応となります。当社担当営業までお問合せください。

4. メンテナンス

- ・毎日AM1時~AM6時の時間帯で、計画メンテナンス(バックアップなど)及びアップデートを実施することがあります。なお、メンテナンス作業中はサービスをご利用いただけない場合があります。
- ・ファームウェア等のパッチ適用は当社が必要と判断した場合にのみ適時行います。

5. バージョンアップポリシー

- ・i-FILTERのメジャー、マイナーバージョンアップは有償対応になります。

6. 制限事項

- ・テクニカルサポートなどに使用するため、弊社用の管理者ユーザーを作成させて頂く場合があります。
- ・当サービスでは、稼動 OS に対してお客様環境からの操作は行えません。
- ・当該アプリケーションの機能のうち、OS 上の操作を必要とするものは当サービスでは原則としてご利用いただけません。別途ご相談ください。

7. 注意事項

- ・お客様のご利用状況によって i-FILTER サーバのリソースを増加する必要がある場合は、別途リソース追加オプションが必要となります。
- ・お客様ご自身で設定変更や設定追加を行った事に起因する障害対応や復旧対応は原則として別途有償となりますので予めご了承ください。
- ・ウイルス感染した端末からのアクセスや不正動作が疑われる場合は、アクセスを無効にさせて頂く場合があります。
- ・ソフトウェアの特性上、バックアップデータから一部の機能だけ復旧する事はできません。
- ・バックアップデータからお客様のデータ削除等による任意の復旧は致しません。
- ・i-FILTER の既存設定の移行や i-FILTER の教育研修は別途費用が発生します。
- ・Windows NTLM 認証ご利用時は i-FILTER サーバがお客様環境のドメインに参加する必要があります。
 - ※Windows NTLM 認証のご利用時は別紙「管理者権限付与申込書」のご提出が必要です。
 - ※お客様環境で設定されたグループポリシーなどにより、i-FILTER サーバが影響を受けた場合はお客様環境に起因する障害となるため、原則としてサポートは致しかねますので予めご了承ください。